

基本計画の体系	基本目標2 地域とともにある学校づくりの推進																
	施策1 家庭・地域との連携・協働の推進																
	1 家庭・地域と一体となった学校運営の推進																
	(1) コミュニティ・スクールを活用し、保護者や地域住民などの学校運営への参画を促進します。また、コミュニティ・スクールは、地域の実情に応じ、中学校区内における小・中学校間の連携を図りながら運営します。																
その他計画の位置づけ	<input type="checkbox"/> 基本構想実施計画 ■教育行政執行方針 <input type="checkbox"/> その他 ()																
事業名	コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の推進	担当課	学校再編・地域連携課														
事業概要（目的等）	子どもたちの豊かな成長を支える「地域とともにある学校」の実現に向けて、地域住民や保護者、教職員が一定の権限と責任をもって学校運営について意思決定を行う学校運営協議会を市立幼稚園・小・中学校・高等学校に設置し、学校運営に参画する取組を推進する。																
取組実績	【取組実績】 ・令和元年度に、すべての市立幼稚園・小・中学校・高等学校においてコミュニティ・スクールを導入し、令和6年度も保護者や地域と連携しながら、各学校における工夫のもと、創意ある取組を行った。 ・コミュニティ・スクールの推進のため、学校側の窓口となる各校の「地域連携担当」の教職員等を対象に、コミュニティ・スクールの制度への理解や地域と連携した取組事例などを学ぶオンライン研修会を開催した。																
	【過去5年間の推移】 学校運営協議会設置校数 (単位：校)																
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">区分</th> <th style="width: 10%;">R2</th> <th style="width: 10%;">R3</th> <th style="width: 10%;">R4</th> <th style="width: 10%;">R5</th> <th style="width: 10%;">R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校運営協議会設置校数</td> <td>66</td> <td>63</td> <td>60</td> <td>59</td> <td>59</td> </tr> </tbody> </table>						区分	R2	R3	R4	R5	R6	学校運営協議会設置校数	66	63	60	59
区分	R2	R3	R4	R5	R6												
学校運営協議会設置校数	66	63	60	59	59												
※R3～R5は学校統合により学校数減少																	
成果と課題	【成果】 ・各学校における工夫のもと、地域との情報共有を図ることができた。 ・学校が地域と連携した取組を組織的に行えるようになった。 ・学校に対する保護者や地域の理解が深まった。 【課題】 ・将来的に各学校運営協議会において、地域コーディネーターの役割を担う地域人材を確保・育成していく必要がある。																
評価	○	進捗		成果		課題											
			予定どおり		成果が十分		課題はない（ほとんどない）										
		✓	概ね予定どおり	✓	成果が一定程度	✓	課題は小さい										
			やや遅れ		成果が不十分		課題はやや大きい										
	遅れ		成果が見られない		課題は大きい												
今年度の状況	拡充 地域と学校をつなぐパイプ役となる地域コーディネーターを増員することにより取組を拡充し、各学校における創意工夫のもと、地域学校協働活動との一体的な推進を図る。																

基本計画の体系	基本目標 2 地域とともにある学校づくりの推進																
	施策 3 学校間の連携・接続																
	1 学校間の縦の連携・接続																
	(3)教育上特別な配慮を必要とする子どもに関する個別の教育支援計画などを学校間で円滑に引き継ぎます。																
その他計画の位置づけ	<input type="checkbox"/> 基本構想実施計画 <input type="checkbox"/> 教育行政執行方針 <input checked="" type="checkbox"/> その他（学校教育指導資料）																
事業名	はこだて子どもサポートシートの活用の推進	担当課	教育センター，教育指導課														
事業概要（目的等）	児童生徒の早期からの一貫した支援の実現を図るため，教育上特別な配慮を要する児童生徒の支援について，「はこだて子どもサポートシート」（本市における個別の教育支援計画および個別の指導計画）の活用を促進し，校種間の確実な引継ぎを行う。																
取組実績	<p>【取組実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育巡回指導員が巡回相談を行う際には，サポートシートの活用について助言を行うなど，活用の促進を図った。 ・北海道教育センターの各種研修会や指導主事による訪問研修等の際に，サポートシートの作成・活用による組織的な支援体制の構築や，通常の学級に在籍する支援の必要な児童生徒についても，必要に応じてサポートシートを作成・活用して情報共有を行うことが重要であることについて，助言等を行った。 ・特別支援学級に在籍しているすべての第6学年児童のサポートシートを，北海道教育センター経由で進学先の中学校へ送付した。 ・函館市特別支援教育推進協議会において，「はこだて子どもサポートシート」の活用状況について情報共有を行った。 <p>【過去5年間の推移】 教育上特別な配慮を要する児童生徒の割合（単位：％）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童生徒の割合</td> <td>4.9</td> <td>6.0</td> <td>6.4</td> <td>6.4</td> <td>6.7</td> </tr> </tbody> </table>					区分	R2	R3	R4	R5	R6	児童生徒の割合	4.9	6.0	6.4	6.4	6.7
区分	R2	R3	R4	R5	R6												
児童生徒の割合	4.9	6.0	6.4	6.4	6.7												
成果と課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通級による指導を行っているすべての児童生徒や特別支援学級に在籍しているすべての児童分の「はこだて子どもサポートシート」を作成し，学校間や小・中学校間の継続した支援の充実が図られた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校と関係機関における「はこだて子どもサポートシート」を活用した情報共有のあり方について，函館市特別支援教育推進協議会で協議していく必要がある。 																
評価	○	進 捗		成 果		課 題											
			予定どおり		成果が十分		課題はない（ほとんどない）										
		✓	概ね予定どおり	✓	成果が一定程度	✓	課題は小さい										
			やや遅れ		成果が不十分		課題はやや大きい										
		遅れ		成果が見られない		課題は大きい											
今年度の状況	継続		函館市特別支援教育推進協議会で出された意見を参考にしながら，「はこだて子どもサポートシート」の活用方法の向上について検討していく。														

基本計画の体系	基本目標2 地域とともにある学校づくりの推進																						
その他計画の位置づけ	<input type="checkbox"/> 基本構想実施計画 ■教育行政執行方針 <input checked="" type="checkbox"/> その他（函館市立小・中学校再編計画）																						
事業名	市立小・中学校の再編の推進	担当課	学校再編・地域連携課																				
事業概要（目的等）	少子化や人口減少による小規模校の増加に対応し、子どもたちにとって望ましい教育環境を提供できる学校規模を確保するため、学校の統廃合や通学区の調整など、地域の実情を踏まえた学校再編を進める。																						
取組実績	<p>【取組実績】 （令和5年度） ・平成28年度に答申を得た第2グループ小学校12校のうち6校（八幡小・万年橋小・千代田小グループ、中部小・北星小・中島小グループ）について、各校で保護者等説明会を開催し、学校再編に関するアンケート調査を実施した。 （令和6年度） ・同グループ6校の再編留保について、函館市教育振興審議会に報告のうえ、再度、各校で保護者説明会を開催し、学校再編に関するアンケート調査結果と再編留保の方向性を説明したうえで、教育委員会臨時会において、平成28年度答申「第2グループ小学校の再編について」に対する対応と今後の学校再編について決定した。</p> <p>【過去5年間の推移】 函館市教育振興審議会（再編関係）開催実績（単位：回）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>審議会全体会</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>学校再編部会</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>					区分	R2	R3	R4	R5	R6	審議会全体会	—	1	—	—	1	学校再編部会	1	3	—	—	—
区分	R2	R3	R4	R5	R6																		
審議会全体会	—	1	—	—	1																		
学校再編部会	1	3	—	—	—																		
成果と課題	<p>【成果】 ・第2グループ6校の再編留保について、各校で保護者説明会を開催し、教育委員会臨時会において、平成28年度答申「第2グループ小学校の再編について」に対する対応と今後の学校再編について決定した。</p> <p>【課題】 ・今後の学校再編の進め方については、児童生徒数の推移や学校規模、地域環境の変化等を見据え、学校を通じて保護者等に情報提供を行い、理解や協力を得ながら、総合的に判断を行う必要がある。</p>																						
評価	△	進 捗		成 果		課 題																	
✓		予定どおり		成果が十分		課題はない（ほとんどない）																	
		概ね予定どおり	✓	成果が一定程度		課題は小さい																	
		やや遅れ		成果が不十分		課題はやや大きい																	
	遅れ		成果が見られない	✓	課題は大きい																		
今年度の状況	継続		今後の再編にあたっては、児童生徒数の推移や学校規模、地域環境の変化等を見据え、保護者等の理解や協力を得ながら、「函館市立小・中学校再編計画」に基づき、検討する。																				